

平成23年度
実施事業

事務事業名 登別市教育研究会運営事業費補助金

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	4	教員の資質の向上
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助することにより、市全体の教育レベルの向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るために各部会活動や研修会を行っている登別市教育研究会に対して、活動に要する経費の一部を補助した。</p> <p>【教育研究会の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究部会（14部会） 会員は下記いずれかの研究部会に所属し部会活動等を実施した。 事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算数・数学、社会、国語 ・研究部会の開催（計5回） ・運営委員会の開催（計5回）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることは、市全体の教育レベルの向上につながるため、今後も継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	650	650	650	650	650
事業費 合計			650	650	650	650	650

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	研究部会実施回数（14部会）	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	4	5			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
登別市教育研究会が実施する各部会活動や研修会等を通して、教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図る。	教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることで、市全体の教育レベルの向上を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 登別市教育研究会が実施する各部会活動や研修会等を通して、教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることは、市全体の教育レベルの向上につながるため、市が本事業を行うことは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図る上でも必要な事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 登別市教育研究会の運営は、市の助成と会員からの会費により行われており、助成金の削減は、会員の負担増加及び研究会の運営規模縮小に繋がる。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 各部会活動や研修会等を実施することにより、教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図ることで、市全体の教育レベルの向上を図る。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることは、市全体の教育レベルの向上につながるため、本事業は継続が必要である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----